

膜分離活性汚泥法の導入（新技術の活用）

概要： 水処理に新技術を用いて、従来の活性汚泥法の処理水質以上の水質（高度処理）と施設のコンパクト化を実現

（従来）

高度処理化に広い敷地面積が必要

⇒

（新）

従来よりも狭い敷地面積で可能

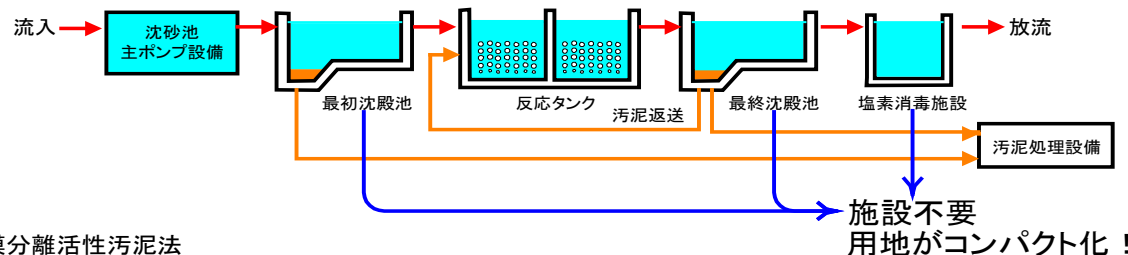
効果：

・通常、高度処理には広い敷地面積が必要であるが、新技術（膜分離活性汚泥法）を採用することで、沈殿池、消毒施設の省略が可能となり、施設のコンパクト化、敷地面積の縮小が可能となるため、コスト改善となる。

■日本下水道事業団全体で建設費を、1,809百万円から1,630百万円に改善。

（改善額 179百万円、改善率 約10%）

従来の活性汚泥法



膜分離活性汚泥法

